

新図書館整備事業基本構想策定に向けて

図書館ミーティングを開催しました！

令和6年7月31日（水）これから進んでいく新図書館整備事業の基本構想策定に向けて図書館についてみんなで考え・語り合う『第1回図書館ミーティング』が開催されました！

この図書館ミーティングでは、気軽な対話形式により、参加者一人ひとりが自分事として考える市民参加の機会を生み出し、新図書館整備事業への関心を高め、理解促進を図るため、全3回、毎回異なるテーマに沿って新図書館の未来をみなさんと一緒に話し合っていきます。



第1回テーマ

「あなたにとってよい図書館とは？」

第1回図書館ミーティングは、事始めとして『あなたにとってよい図書館とは？』を考えました。初回の参加者は30名、学生からベテラン世代まで幅広い世代の方にお集まりいただきました。

ガイダンスの後、まずはアイスブレイク（自己紹介）からスタート。その後※ワールドカフェ方式で1ラウンド15分×4ラウンドで作業を進めていきます。今回はA～Fまで6テーブルに分かれて、ラウンドごとにメンバーをシャッフルしながら議論を進めていきます。どのテーブルでも和気あいあい、皆さん思い思いの意見を模造紙に書きながら対話を進めていただきました。

※ワールドカフェとは・・・小人数のグループに分かれカフェのようなくつろいだ雰囲気の中でメンバーを入れ替えながら自由に対話する手法

今回の図書館ミーティングの流れ

- 1 ガイダンス（市より）
- 2 アイスブレイク（自己紹介）
自己紹介シートのお題について記入・自己紹介
- 3 ワールドカフェ
◇第1ラウンド
・ふせん（黄色に）自分の考えを自由記入
・グループのメンバーで共有、意見をグループ化
◇第2、第3ラウンド
・メンバーを入れ替え、第1ラウンドの意見について自由に意見交換
・新たな発想や気づいた項目をふせん（ピンク）に記入
◇第4ラウンド
・第1ラウンドのグループに戻って自由に意見交換
・新たな発想や気づいた項目をふせん（ピンク）に記入
- 4 アドバイザーよりコメント



図書館の『人』にかかわる意見

こども

子どもの居場所としての安全性や親子で過ごしやすい場所について意見が挙がりました

- ・子どもが伸び伸び安全に過ごせる
- ・子どもと親で過ごしやすい
- ・子供たちの避難場所にもなる

交流

人と人の交流や創造の場として、様々な場面やイベントについて多様なアイデアが集まりました

- 交流の場
 - ・人と人との交流の場になる
 - ・交流、新たな出会い
 - ・交流と創造の場
- 交流の場面
 - ・観光客向けの展示（入口近くに）
 - ・知的好奇心を刺激する展示、毎月アップデート
 - ・講演聞いたり、ワークできるような開かれた図書館
 - ・猫の館長 ・貸館
 - ・読んだ本を良かったと感想を共有できる
- 交流イベント
 - ・丸谷才一の本の読書会をやってもらいたい
 - ・図書館に泊まる
 - ・朗読・読み聞かせ
 - ・読書会ができる図書館！

司書・職員

レファレンス相談などを通して司書・職員とのコミュニケーション活性化について意見が挙がりました

- ・司書さんと話しやすい
- ・レファレンス相談できる司書
- ・推し司書
- ・正規の職員をおいてもらいたい
- ・職員さんも輝いて働ける環境

学び

勉強スペースやクリエイティブ拠点など学びの場づくりに向けた意見が挙がりました

- ・研究発表
- ・勉強スペース充実
- ・クリエイティブ拠点つくる
- ・学ぶチャンスがある

図書館の『建物』にかかわる意見

アクセス・立地

施設の立地や交通手段、駐車場の利便性についての意見の他、既存建物の活用についてもアイデアがありました

- 建物の立地
 - ・場所は駅の近くに。バスはどこからでも集まる
 - ・歩いて行けるところにあってほしい
 - ・立地を便利なところに、中心部
 - ・わかりやすい場所
 - ・チャリで行ける（学生）
 - ・駐車場、公共乗物
 - ・駐車場が広い
- 既存建物活用
 - ・駅前 フーデバーの建物を図書館に
 - ・廃棄図書の置き場に空き家を活用

雰囲気

建物の居心地の良さや過ごしやすさについて意見が挙がりました。また、落ち着いた静かな雰囲気や求める意見の他、自由に過ごせるおらかさを備えた雰囲気についても意見が見られ、図書館に対する多様なニーズが顕在化しています

- 建物の雰囲気
 - ・長くゆっくりできる
 - ・居心地の良い図書館
 - ・色々な人が入りやすく過ごしやすい空間
 - ・ほどよく人の気配が感じられる
 - ・読書する人もしない人も良い時間を過ごせる場所に
 - ・木のぬくもりが感じられる
 - ・緑のあるイメージ
 - ・清潔感あふれる
 - ・市の文化の象徴としての存在
- 図書館の雰囲気
 - ・本への愛があふれている
 - ・本が好きになる図書館
 - ・本を手にとれる環境
 - ・本の可能性が広がる
- 落ち着いた雰囲気
 - ・しゃべりやすい
 - ・本を静かに読めること
 - ・十分なパーソナルスペースがとれる
 - ・鬼集中
- おらかな雰囲気
 - ・ヒソヒソ静かじゃない方がいい
 - ・わくわくどきどきを感じられる
 - ・自由に過ごせる空間がある
 - ・図書館でかくれんぼ 静かに
 - ・グループワークもできる
 - ・館内を歩くと自分の日常では出あえない刺激が味わえる

空間・環境

採光・通風・開放感、可変性を備えた機能性やユニバーサルデザインなどの視点と共に、飲食のできるカフェ等を求める屋内空間の意見が挙がりました。また、屋外環境との関係性や環境負荷に対しても様々な意見を頂きました

- 屋内空間・環境
 - ・日がよく入る図書館
 - ・風が入る
 - ・天井が高いこと。タテの開放感
 - ・開放的な空間
- 屋外環境
 - ・外でもゆっくりできる広場があるといい
 - ・外とのかかわり
- 機能
 - ・用途で変えられる間取り
 - ・たたみスペース
 - ・机がいっぱいある
 - ・棚が大きい
 - ・クラゲの水槽がある
 - ・子どもがいても大丈夫（騒音対策バッチリ）
 - ・親子で過ごしやすい（授乳・おむつ交換・育児書・絵本が近い）
- ユニバーサルデザイン
 - ・ユニバーサル（行き来）
 - ・年齢や障害に関係なくだれでも使える
 - ・バリアフリー
 - ・車いすの出入りは考えているのか
- 飲食
 - ・食文化カフェ
 - ・飲食しながら過ごせる
 - ・カフェや緑豊かなこちよい場所
- 設備
 - ・冬の日光不足をカバーできる照明がある
 - ・トイレきれい
- 環境負荷への視点
 - ・環境負荷を最小に、EX 鶴岡倉庫
 - ・SDGsに配慮の立地、設計、プロセス、フーデバーを図書館に
 - ・環境に優しく木をつかった空間

ゾーニング

静かなスペースと話せるスペース、大人と子ども等、ニーズに応じた空間の区分を求める意見が挙がりました

- ・静かなスペースとおしゃべりスペースの区別
- ・児童用と大人用で分ける
- ・新聞・お昼寝・キッズ・有料のラグジュアリー（区別化）
- ・自習などに使えるエリア分け

運営・コスト

適正コストでの施設整備・運営を求める意見の他、開館時間の延長について意見が挙がりました

- コスト
 - ・メンテ費用がリーズナブルな事
 - ・予算内でできるシンプルな図書館
 - ・次世代に負担のないハード施設
 - ・今の図書館予算は少ないと思う
- 図書館の運営
 - ・開館時間が長め
 - ・夜まで開館9時10時
 - ・年中無休

図書館の『資料』にかかわる意見

選書の多様性

選書の多様性を求める意見が多く挙がりました。選書については市民参加についての意見の他、現在の蔵書に対する意見も頂きました

- 選書の多様性
 - ・選書の多様性。市民参加を取り入れて
 - ・書棚からインスピレーションがわく
 - ・雑誌100誌以上！寄付、協賛も
 - ・古今の知見や文化に敏感である
 - ・自分が必用とする本があること
 - ・借りたい本が多すぎる
 - ・読みたい本が豊富にある
 - ・本のジャンルが多い
 - ・洋書（がある）
 - ・絵本・専門図書
 - ・地域推しの本沢山
 - ・マンガがある
 - ・話題の本がある
- 現在の蔵書に対する意見
 - ・専門の本がない
 - ・本の入替、特にが関係の本は10年経てば古いものばかりです

本との出会い

新たな本との出会いを求める意見の他「自分のおすすめ本」を企画するアイデアも頂きました

- ・新しい「本に出合う場所」
- ・知らないジャンルの本が見つかる
- ・たくさんの本が所狭しと並んでいる事
- ・以前の企画「自分のおススメの本！」をしたい
- ・本だけでなく映像や音楽にもふれられる

本へのアクセス

開架書庫の広さや本の探しやすさに対する意見の他、県内の他の図書館との連携を求める声も挙がりました

- ・求めている本が探しやすい図書館
- ・知りたい情報（本・映像）が手に取れる
- ・個人蔵などの資料をリスト化してほしい
- ・開架の多い図書館
- ・資料保存 大きい書庫
- ・読みたい本がない時、県内の図書館からスムーズに借りられること

郷土

鶴岡の文化を踏まえた資料収集やアーカイブについて意見が挙がりました。また、鶴岡の食文化発信のアイデア等も頂きました

- ・鶴岡の文化を知る、今を伝えることも
- ・それぞれの地域の特徴を生かした本の収集ができる
- ・郷土資料や地元資料、新たな地域資料がきちんとアーカイブされている
- ・郷土資料を活用できる
- ・古文書をカッコよく身近な存在に
- ・図書館が食文化発信も望ましい
- ・食文化発信のキッチン、みんな使えるのがあれば
- ・食文化・出羽三山スペース

デジタル

電子図書館やデジタルアーカイブ、自由に使えるデータベース整備の意見が挙がりました。その他、ネット環境やWi-fi環境の充実を求める意見を頂きました

- ・電子図書館
- ・データベース自由に使えて調べやすい
- ・デジタルアーカイブが見れる（高画質美術）
- ・デジタル図録がきれいに見れる
- ・オートメーション（無人化）
- ・読書メーター的に自分の読書履歴をデータ化してほしい
- ・写メで資料を活用できる⇒石川県立
- ・ネット環境の充実 観光客も使える
- ・Wi-Fi

まとめ

図書館の三つの資産（アセット）である『人・建物・資料』の観点で第1回図書館ミーティングの意見を分析した結果、『建物』に係る意見が最も多く、次いで『資料』『人』に係る意見が見られました。今回の分析結果を踏まえ、基本構想に反映していきます。

次回の図書館ミーティングでは、「あなたは図書館で何をしたいですか？」をテーマに、さらに内容を深めて考えていきます。

新図書館整備事業基本構想策定に向けて

第2回 図書館ミーティング開催!

第2回テーマ

「あなたは図書館で何をしたいですか？」

令和6年9月26日(木)、第2回図書館ミーティングが開催されました!
 今回のテーマは『あなたは図書館で何をしたいですか?』をテーマに議論を進めました。今回の参加者は22名の方にお集まりいただきました。
 前回に引き続き、※ワールドカフェ方式で、1ラウンド20分×4ラウンドで予定していましたが、議論が盛り上がり、3ラウンドで時間切れ。その分、図書館に対する皆さんの熱い思いを模造紙に書き込んでいただきました。

※ワールドカフェとは・・・小人数のグループに分かれカフェのようなくつろいだ雰囲気メンバーを入れ替えながら自由に対話する手法



今回の図書館ミーティングの流れ

- 1 ガイダンス (市より)
- 2 講話 (アドバイザーより)
- 3 アイスブレイク (自己紹介)
自己紹介シートのお題について記入・自己紹介
- 4 ワールドカフェ
◇第1ラウンド
・ふせん自分の考えを自由記入
・グループのメンバーで共有、意見をグループ化
◇第2ラウンド
・メンバーを入れ替え、第1ラウンドの意見について自由に意見交換
・新たな発想や気づいた項目をふせんに記入
◇第3ラウンド
・第1ラウンドのグループに戻って自由に意見交換
・新たな発想や気づいた項目をふせんに記入
- 5 アドバイザーよりコメント

まとめ

図書館でやりたいことについて第2回図書館ミーティングの意見を分析した結果、『つながる』『イベント』『みんなで』の活動に関連して多くの多彩な意見がありました。またデジタルアーカイブについて様々な意見を頂いています。これらの分析結果を、基本構想に反映していきます。
 次回の図書館ミーティングでは、「まちの誇り(シビックプライド)につながる郷土資料の使い方は?」をテーマに、議論を深めて考えていきます。

図書館でやりたいことについてのご意見

子どもと

気兼ねなく、図書館で子どもと一緒に過ごしたい、また、子どもの居場所(遊び場)を求める声が挙がりました

- ・子どもの勉強したい 意欲をかきたてる空間
- ・子どもと一緒に本を選び、声を出して読みたい
- ・親が読める本(子育て関連など)も置いてある子どもコーナーがあるなど、気兼ねなく子どもを連れて図書館を利用したい
- ・「子どもの居場所」を作りたい(EX: 武蔵野プレイスのような)
- ・カードゲーム・ボードゲーム大会。将棋・棋譜研究
- ・親子で絵本をテーマにした工作や遊び

個人で

飲食もできる充実した環境で、1日ゆっくり過ごしたい、また、ワークスペースとして活用したいとの意見が挙がりました

- ・本を借りてカフェへ
- ・1日ゆっくり過ごしたい。(飲食・休憩も館内で)
- ・ひとり時間を充実させたい
- ・静かに落ち着いて本と向き合う(空間作り)
- ・ワークスペースとして使いたい
- ・木立が有り外で花を覗き読みたい
- ・憧れのロッキングチェアに座って読書したい
- ・気兼ねなく使えるエリアで、読み書きを一杯したい
- ・広い開架で多様な本を眺めたい
- ・雑誌が多種多様に揃っている空間で乱読したい

なかまで

グループ活動や研究活動を行いたい、待合場所としての活用が意見として挙がりました

- ・図書館の会議スペースを活用したグループ活動・研究発表の練習(プロジェクターなどを使って使用)
- ・〈高校生目線〉グループで勉強し討論できる場。研究活動等。(ICT)(空間)
- ・待ち合わせ場所として使いたい
- ・本についておしゃべりしたい
- ・音読書(声が出せるスペースで勉強)

みんなで

みんなでコンサートやおはなし会、好きな本を語り合いなどの意見が挙がりました。その他、図書館の本を活用し、シェアキッチンで料理教室や子ども食堂などを行いたいとの声も頂きました

- ・展示とかコンサートを観て、自分もしたい!を本を見てすぐに始められる環境
- ・お話し会をやりやすい部屋
- ・絵本の読み聞かせだけでなく語り(田川民話の会)を聴きたい
- ・初めての人も気軽に来られる郷土文化・郷土史・古文書講座(勉強会)
- ・解説を聞きながら郷土資料館の展示が見られると嬉しい。人に聞くのもいいし、デジタル活用も
- ・みんなで話しができるコト(今日みたいに好きな本を語るだけで盛り上がる!!)
- ・シェアキッチン(料理の本)みんなでごはんを食べる、有事の際は防災利用もできるように
- ・本にのっている料理を作って、みんなでおしゃべりがしたい
- ・市民活動の活躍の場。点と点を線にする
- ・小さなホール(コンサート・人形劇)があるといいです
- ・音読したい人・聞きたい人、共に楽しめる場
- ・図書館ミーティングの開催地を高校にする。市民も集めて”図書館ミーティング in○○高校”をやる

つながる

郷土にかかわるものから個人の趣味、ボランティアまで、ひとつにつながっていく様々活動について多彩な声を頂きました。また、図書館づくりから運営まで積極的に参画していきたいとのご意見も!

- ・絵本の原画展示がしたい
- ・古地図をたくさんの人に見てほしい。今の道と照らし合わせるとおもしろい
- ・伝言板・掲示板などを使って、本の教えあいや仲間募集などしたい
- ・お年寄りの知識を聞きたい
- ・〇〇講座をしてみたい。スマホ使う・模型・金継ぎ・本づくり・自叙伝・ギター等そして、その本が図書館にある
- ・ハーブ・薬草を育てたい(園芸療法)&その活動をシェアしたい
- ・読書スタンプラリー。課題となる本?を読んで、読書のおもしろさを知る機会に
- ・健康・環境・文化などジャンルを超えた研修会をしたい
- ・本の修理・観光ガイド・古文書・郷土野菜についてなど、ボランティア育成・講座をしたい
- ・小説家・絵本作家など、地元の作家さんと交流したい
- ・健康・医療へのアクセス、図書館に行くと健康になる!血管年齢・骨年齢を測定したり
- ・健康講座や相談室を定期的に開催したい(まちの保健室、気軽に話せる場)
- ・「職」に関する企画展示と、その職業の人たちとの交流企画
- ・市民活動センターを運営したい
- ・図書館づくりから完成までのWSをしたい、運営参画までかかわりたい

イベント

館内探検や音楽イベント等、図書館を舞台とした様々なイベント開催について、多彩なアイデアを頂きました

- ・自由に使える広場で【ぐりとぐら】のパンケーキを作る
- ・図書館視察ツアー・館内探検・ミステリーナイトツアー・バックヤードツアーなど図書館を活用したイベントがしたい
- ・子どもも大人も、ワクワクドキドキするツアーを企画したい
- ・子ども達を大勢呼び読み聞かせの会をやってみたい
- ・ライブ♪学生も中高年バンドも気軽に本をテーマにした音楽会がしたい
- ・オーケストラを呼んでコンサートが聴きたい
- ・子ども達を大勢呼び歌や踊りをしたい
- ・図書館でファッションショーをやってみたい
- ・講演会の企画をしているので場所として使いたい
- ・市民バザー・フリーマーケットをしたい
- ・絵本作家・童話作家の講演会やワークショップを行いたい
- ・童話作りや絵本を作りのワークショップがしたい
- ・サウナフェスをしたい
- ・他施設との連携によるイベントがしたい(EX: まちキネ上映予定のコーナー、原作の展示など)
- ・夜の図書館(川西の真似)をやりたい

デジタル活用

デジタルアーカイブやデジタルを活用したデータベースを利用したいとの意見がありました

- ・大きい画面で絵本を見たい。他館の蔵書でも(デジタルアーカイブ・スペース活用)
- ・大英博物館のデジタルアーカイブをじっくり鑑賞したい
- ・本とパソコンとスマホを使って調べものをしたい
- ・読書通帳を作って自分の読書を管理したい
- ・企業・ビジネスデータベースが見れる。(高校生が将来について考えるきっかけになる)

発表

図書館の本を活用して興味のある物を制作し、それを発表する場を設けたいとの声が挙がりました

- ・本を活用したものの発表。(例: 洋裁・絵手紙)
- ・気軽に好きなこと、絵などの発表・展示をしたい(ギャラリー)
- ・市の模型が作りたい
- ・図書館の本を活用して作ったものの発表の場として使いたい
- ・市民活動の発表の場づくり。音楽・美術・研究 etc

本や資料

普段見かけない雑誌との出会いや、古文書を読めるようになりたいとの声の他、選書にかかわりたいとのご要望も頂きました

- ・購入して欲しい本をリクエスト
- ・本を探す時、多くの本を手にとって選びたい(開架数)
- ・選書にかかわりたい
- ・普段見かけない雑誌を手にとりたい
- ・専門的な本を使って、レポートを書きたい
- ・漫画やエッセイを読みたい
- ・古文書を読めるようになってみたい

図書館の『人』にかかわる意見

交流

- ・中高生のボランティアの場。活躍出来る場所を!(読み聞かせとか)
- ・異分野との出会い(非日常)
- ・「大人の」居場所も必要。仕事・家庭だけでなくサードプレイスとして
- ・住民以外(観光客・出張者)が鶴岡情報などを得られる場を
- ・人と出会える・交流が生まれる仕組みがあるとうれしい(多世代)

連携

- ・博物館・公益大や山農大農学部との連携。相互貸し出し等
- ・鶴岡中央高校のシルク美容師さんに協力。普段来ない人に来てもらうチャンス
- ・図書館に今まで来ていない人が来たくなるコンテンツを揃える
- ・子ども・若者の意見反映できる体制を
- ・「自分ごと」として市民が考え企画できる図書館
- ・市のHPを作りたい→観光につなげる

図書館の『資料』にかかわる意見

郷土

- ・地域・地元・郷土をきちんと守る
- ・鶴岡の良さを広めたい
- ・”人”が大事!人を育てる

デジタル

- ・市民活動センター×ライブラリー(アーカイブ)活動もアーカイブする
- ・調べるツールとしてデジタル本を手取る

学び

- ・本来の役割を見失わない。本読むこと・知識。あれする・これするはサブで!
- ・サイエンスパークのバイオテクノロジーが欲しい(知恵)

資料・配架

- ・情報発信が大事!!
- ・あえてアナログ文化を大切に!!
- ・職員のおすすめの本、紹介の日を聞きたい。展示もみたい

図書館の『建物』にかかわる意見

運営

- ・無人化・防犯カメラ(人件費削減)
- ・スタッフ→公益大生、単位制
- ・時間延長にボランティアスタッフを
- ・無人化のセルフ貸し出し
- ・月曜休みの人が、図書館に来られない

アクセス・立地

- ・使いやすい駐輪場
- ・公園のようなひらけた場所のそばにあると良い(防災)
- ・まちなかで観光とつながる図書館に
- ・送迎があったり行きやすい図書館に

建物

- ・人がたくさん集える(職員・利用者)
- ・鶴岡スタイルの図書館に(独自性)
- ・余日・長井図書館等を参考に
- ・分館→あった方がよい
- ・昔の資料の展示スペース
- ・合宿のように継続的に活動できる場
- ・「静かに」と「話しながら」スペース区別だけでなく時間帯区別も?
- ・勉強とアーカイブ利用の住み分け
- ・冬期間に人工太陽光を浴びたい。(冬期うつ予防)

新図書館整備事業基本構想策定に向けて

第3回 図書館ミーティング開催!

テーマ 「まちの誇り (シビックプライド) につながる郷土資料の使い方は?」

令和6年10月6日(日)、第3回図書館ミーティングが開催されました!!!
 今年度最後の今回は、『まちの誇り (シビックプライド) につながる郷土資料の使い方は?』がテーマです。
 荘内大祭本祭当日にも関わらず、18名のミーティング参加者と多くの傍聴者にお集まりいただきました。
 はじめに、普段は見ることのできない郷土資料館収蔵庫と企画展を解説付きで見学～アドバイザーの山崎先生から郷土資料に関する講話をしていただいた後、グループワーク形式で議論を進めました。
 直前に収蔵庫から溢れんばかりの郷土資料を目の当たりにしたこともあって、この豊富な郷土資料をどう活かしていくべきか…アッ!という間に3グループとも模造紙がふせんでいっぱいになりました!!



図書館ミーティングの流れ

- 1 ガイダンス (市より)
- 2 閉架書庫 (郷土資料庫) の見学
自己紹介シート記入・自己紹介
- 3 講話 (アドバイザーより)
- 4 アイスブレイク (自己紹介)
グループ内で自己紹介
- 5 ワークショップ
◇個人ワーク …考えをふせんに自由記入
◇グループワーク …意見交換、整理
◇まとめ …キーワード抽出、発表準備
- 6 発表
- 7 アドバイザーコメント

『展示・情報発信・活用』にかかわる意見

鶴岡PR!

他地域から参加された方から、鶴岡は文化レベルが高くて羨ましい!とお言葉もいただきました。

- ・ 地元こんなものがあるよ…これから知ろう!誇ろう!と資料の質・量をアピールすべき!
- ・ 街歩き観光につながる企画展示
- ・ 観光客へのアプローチとして、駅やホテルに古地図等の資料を置く
- ・ 例えば旧町名コンプリートサブプレなど郷土資料のお土産商品化
- ・ 古地図と現代図の重ね合わせは観光とつながるし面白い
- ・ 市街地に絵図写真、人物画等、シンボルとなる案内板を作成
- ・ 懐かしい広告資料の展示をまちなかで開催!
- ・ 郷土資料のPRの仕方をわかりやすく
- ・ 地域史のエピソードをLINE配信

子ども

未来を担う子どもたちにどう伝えるか…たくさんの意見が挙がりました。

- ・ 子ども向けの郷土史の展示
- ・ 自由研究とか調べると面白いけど、なかなか子どもには難しい…
- ・ 子ども(歴史素人)のための企画展
- ・ 小中学校で学区に関わらず、探求テーマを設定し、そこに郷土資料をわかりやすく提示
- ・ 子どもや初心者のために間口を広げる
- ・ 太平洋戦争と鶴岡・庄内地方の歴史(子どもや孫への伝え方)
- ・ 子どもたちにもわかりやすく解説した郷土資料があったらいいな…
- ・ 自由研究などに使う子供向けの資料が少ない。出版されていないなら作成することも必要!
- ・ 大人からの引き出し
- ・ ファミリー・ヒストリー(写真等)

きっかけづくり

シビックプライドスタート…読書や読み聞かせと同様に、最初のきっかけづくりが大切です。

- ・ 芸能・食文化などジャンル分けした資料の展示
- ・ 興味あるところを入り口に親しみやすい展示
- ・ 触れてもらうきっかけに、週一回郷土史おもしろコーナーを配信
- ・ 展示内容を皆さんにどう知ってもらうか?
- ・ レファレンス事例紹介(こんなことも調べられるんだ～)
- ・ 個人収集物の展示ができるよう、展示施設を市民に開放してはどうか?
- ・ ホームページにゆる～いコーナーを作る(文化・歴史的なミニコーナー)
- ・ 初めての人も気軽に来られる郷土文化・郷土史・古文書講座(勉強会)

興味・関心

事前見学で資料レベルの高さを目の当たりにすることができました。これを活かさないのはもったいない!

- ・ 市民の興味ある資料の種類を把握して情報発信!
- ・ 市民とのコミュニケーション(実はこんなことやっている!)
- ・ 市民の大半は郷土資料館が何をしているか知らない…ので興味を引く展示
- ・ 保存がどれほど大変かは分かるが、資料の開架をしてほしい(今日の見学はとても楽しかった!!)
- ・ クレドール(地域文化情報誌)の活用
- ・ 歴史の専門性を要しない企画(昔の道具とかビジュアルで分かりやすいもの)
- ・ 今回発見された郷土資料!みたいな小さなチラシ(へえ～となるような本を読みに来た人に+αの発信を!)

アイデア

歴史や郷土に詳しい方々からは、より具体的で専門的な展示アイデアも挙がりました。

- ・ 三つの日本遺産(出羽三山、松ヶ岡、加茂)のアーカイブ発信
- ・ 太平洋戦争に至るまでの歴史・役割とその後(軍人・新聞・国民)
- ・ 幕末における幕府と庄内藩・長岡藩との違い
- ・ 三方領知替による幕府の弱体化、庄内藩の歴史上の役割
- ・ 郷土資料館の展示も前へ
- ・ 人の集まる場所・お祭り等への啓発展示(古い家にある時代祭の衣装など)
- ・ シビックプライドとは…
- ・ 共有する、歴史文化を知ること

デジタル

郷土資料を最大限に活用するために、図書資料同様にデジタルアーカイブ化は大きなテーマのようです。

- ・ いつでもだれでもどこでも資料にアクセスできるようにデジタル化
- ・ 秋田県立図書館のアーカイブ・デジタルに学ぶ
- ・ 図書はHPで検索できるが郷土資料は検索できない
- ・ 研究者は情報収集できるが一般の方にはできない。何を収集しているか情報を発信することが重要!
- ・ 講演会資料を動画で配信→YouTube文化に対応
- ・ 狭いため保存の仕方に工夫(デジタル化するもの、しないものの仕分けなど)
- ・ インターネット利用で情報共有

『収集・保存』にかかわる意見

鶴岡だからこそ

鶴岡ならではの収集保存アイデアもたくさん挙がりました。

- ・ 旧図書館(大宝館)との協力
- ・ 地元の語り部の録音資料を残したい
- ・ 給食(鶴岡発祥)の献立もアーカイブしてレシピも再現できるように
- ・ 方言は字だけでなく音でも
- ・ 年代が違えば見方が大きく違う
- ・ 市の広さを利用!
- ・ 出羽三山の精神文化をアーカイブ化
- ・ 本や映画の歴史考証、デジタル化等、どんな資料があるのかわかるように
- ・ 他を知る、そのことが理解を深める
- ・ 旧家などで廃棄されている史料が多いと思われるが、保存することができれば、それが誇りにつながる
- ・ 家庭や職場にある資料の選別、保全

保存の仕方

郷土資料を永く残していくためには、ハードだけでなく、ソフトの整備も重要です。

- ・ 何かとれどもつのか媒体実験
- ・ 今の人にアーカイブいらないよね?とされないように伝えていく
- ・ お金になる資料から整備していく
- ・ 古文書の解説講座→資料解説をどんどん進める
- ・ 安全な保存スペースにお金をかける
- ・ 語らずに気づかせる(アーカイブ)
- ・ 誇りに気が付くのは後から
- ・ 続けること、計画と新鮮さ
- ・ 由利本荘市のように郷土史家グループとプロジェクトを組み、資料の口語訳やテーマごと研究資料集作成
- ・ 資料の正しい使い方をデジタル・アナログどちらも作成してほしい

『交流・イベント』にかかわる意見

みんなで楽しむ

まずは楽しむことが大切…方言クイズや郷土史散歩ツアーなど、イベントアイデアが挙がりました。

- ・ 成人式で生まれた時の新聞コピー配布
- ・ 古文書クイズ(なんて書いてあるでしょうか?)
- ・ 方言アーカイブ音声(なんて言っているでしょうか?)
- ・ ざんざ商店街のチラシを飾るなら、昔働いていた方に来てもらって当時の話を聞ける…とか
- ・ プラタモリ的ワークショップ
- ・ 探訪クラブや古文書を読む会を作る
- ・ 観光ツアーに郷土資料館を組み込む(北前船ツアーや修験道ツアーなど)
- ・ 子ども向けの郷土資料館ツアー
- ・ 郷土史散歩

みんなで学ぶ

机に向かう勉強だけでなく、郷土資料に親しむことが、まちの誇りを育むことにつながります。

- ・ 石原莞爾の長持がすごくよかった…見たら参加したくなるかも
- ・ 収蔵庫の見学
- ・ 古文書解説の講座(初歩)
- ・ 期間限定展示を行い、今回の見学のよう解説をしてほしい
- ・ コンテスト、キャラ化等のイベントを通じて、郷土の偉人を知る機会を設ける
- ・ コミセンごとに地域の歴史・文化に関わる資料を考える講座
- ・ 寺院や神社も定期的に寺社伝説にかかわる講座
- ・ 高校生・大学生で地域の歴史・文化に関心があるメンバーを募集し定期的に調査・レポートを書いてまとめ公表

『人・運用』にかかわる意見

スペシャリスト

市の職員に頼るだけじゃない、ボランティアの重要性について議論が交わされました。

- ・ 街歩きの案内スタッフが欲しい
- ・ 月一ぐらいで初歩講座に習いながら郷土資料を見られるようなメンバーに
- ・ 今野さんのような専門スタッフを増やす
- ・ 市民からボランティアを募る
- ・ ボランティアの間口を広げる
- ・ 郷土資料のボランティアグループを作る
- ・ 展示企画に市内外の有識者にも参加してもらってはどうか
- ・ リタイア世代のエネルギーをうまく使って孫が見聞きできるように
- ・ 展示、情報発信に高校生や大学生にも参画してもらう
- ・ 学生はかりに頼っていてはダメ。自分たちがやるくらいの気持ちを持たないと。

まとめ

郷土資料に詳しい方から初めてふれる方まで、多くの方から様々な意見をいただきました。

専門性が高く、図書開架室に比べて近寄りやすい印象の郷土資料館ですが、鶴岡市の郷土資料の所蔵点数は日本でもトップレベルだそうです。それだけ歴史と文化が根付いたまちということ。郷土資料館が図書館と同じくらい重要だと改めて実感できました。

全3回の図書館ミーティングを通じて、頂いた多くの貴重なご意見は、しっかりと分析して基本構想に活かしてまいります。今年度は最終回となりますが、来年度以降も引き続きご協力いただきますよう、よろしくお願ひします。



新図書館整備事業基本構想策定に向けて

分館図書館ミーティング開催！

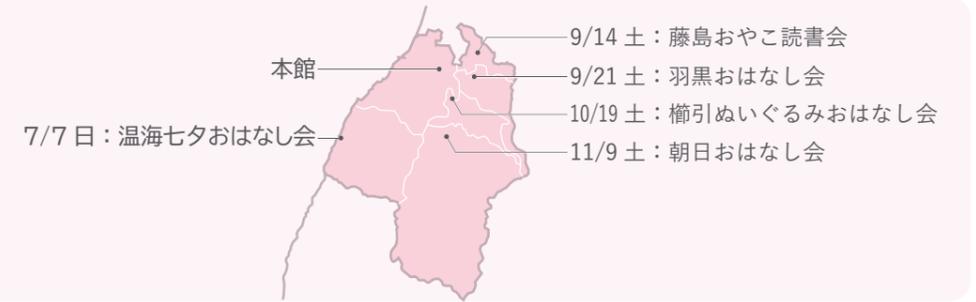
鶴岡市、藤島町、羽黒町、櫛引町、朝日村、温海町が合併、平成17年に新鶴岡市が発足して以降、旧5町村地域には分館が配置され、各地域の図書館サービス拠点となっています。
日頃から分館を利用されている地域の方々より、アンケート形式によるご意見を頂戴しました。

「図書館をどう使っていきたい？」

これまで図書館が取り組んできた活動…
“貸出、閲覧、レファレンス（参考相談）サービス、子ども読書活動、学校との連携、読書推奨講座の開催、郷土資料の収集・活用など”に加えて、これからどう使っていきたいかを話し合いました。

例えば…

本に出会う⇒
居場所（安心できる場所、活躍できる場所）
暮らしと仕事・地域に役立つ



	こんなことができたらいいな	〇〇を解決したい！	→ そのためになにがあれば	今の分館にできること	その他感想
温海分館 七夕おはなし会	<ul style="list-style-type: none"> ゆっくり本を読む マンガ本を読めたらいいな 日本の中でも鶴岡の図書館はこんな特徴あることをアピールできるようにしたい 各集落に移動図書館を増やしてほしい 産業・漁業・商業の情報を共有し、横のつながりを強める 	<ul style="list-style-type: none"> スペシャリストから専門性の高い話を聞きたい 正しい最新情報を知りたい 車いすの方が利用できない カフェスペースがほしい 本館 駐車場がほしい 本館 テーブル・イスが満席 本館 レファレンスが少くない 	<ul style="list-style-type: none"> 心地よいソファ・イス 本をさかしやすく、戻しやすい本棚 マンガ本もあるとうれしい 	<ul style="list-style-type: none"> 団体貸出の手伝いをする方を増やす 読書クラブのような本を通した活動を大切にする 動かないスペースの本を回転させるのはどうでしょう？ 地域の憩いの場に人が集まることで活力が生まれる 小さいが貸出者数、貸出冊数共優秀なので続けていきたい 	<ul style="list-style-type: none"> 皆さんのいろいろなお話を聞いてあつみでもいろいろな取り組みされていることを知ることができてよかったです。 温海分館の利用が思っていたより多くて驚きました。私も今後利用したいと思っています。 読み聞かせを通じて若い方～高齢の方とのつながりを実感！
藤島分館 おやこ読書会	<ul style="list-style-type: none"> 学生も行ける場所を！ 本棚の横にイス等の休めるスペース 高齢の方に自分の居場所を作る ゆっくり半日いられる空間が欲しい cafeがあったらいいな！ 読書通帳機の導入←切望！ 検索システムのバージョンアップ 	<ul style="list-style-type: none"> 駐車場の確保 複合的施設としての効果的活用（ミニシアター・ギャラリー・飲食スペース・テラスなど） にこふるみたいなネーミングの工夫 藤沢周平記念館とのコラボ（コーナー設置） 広い駐車場がほしい 	<ul style="list-style-type: none"> テーブル・イスがあちこちに置ければいいと思う ハード面はシンプルで良し、メンテナンス費用削減でソフト面を充実させてほしい。 乳児を連れて赤ちゃんと授乳室があれば親子連れにいいのでは？ 	<ul style="list-style-type: none"> 町の人がかもって利用ができるよう、農業、獅子舞などの祭りコーナーづくり 利用できていない本の整理 子供の読書が停滞しているように思える。少しでも子供たちに読書の楽しさに伝えて、本が一生の伴侶のような存在になれるよう活動を続けていきたい。 外履きを脱がないで入館できるともっと気軽に立ち寄れそうです。 	<ul style="list-style-type: none"> 皆さんの思いいろいろ聞いて良かった新しい図書館！楽しみ！！ もう少し地域の参加者が欲しかった。 誰でも気軽に利用できる図書館が理想！駅前近くが利用しやすいと思う。 関係者の皆様ご尽力お願ひします。 新しい図書館とても楽しみにしています。
羽黒分館 おはなし会	<ul style="list-style-type: none"> 地域資料（町内会報・学校だより・etc）の徹底した収集・保存を！ 外からこんな新刊が入ってますよとみられるコーナーを作ったらどうか 少しおしゃべりしてもいい雰囲気の場所がほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 「小さい字が読みにくい」声に応えるべく大活字本やオーディオブックへ容易にアクセスできる仕掛けが必要 	<ul style="list-style-type: none"> 地域資料保存スペース確保と利活用 	<ul style="list-style-type: none"> 農業や観光など、地元ビジネス支援を！ 庁舎側にも新刊のPRを掲示して図書館に連れてくる！ 	<ul style="list-style-type: none"> 濃密な対話ができ勉強になりました♪
櫛引分館 ぬいぐるみおはなし会	<ul style="list-style-type: none"> 親子で楽しめる図書館になって欲しい ミーティングの場 開館時間の延長 縁側のある図書館 ごろんとすると緑の田んぼが広がり、遠くに山が見え、横になって本を開いたり、子どもを寝かせたうえで、母が本を読む、など 	<ul style="list-style-type: none"> 親が安心して出かける場にしていく (略)災害時に一時的に避難する場所であったり、非常食や毛布を備蓄する施設としても利用できるようにしてほしい 駐車場少ない（スペースを広げていつでも利用できる） くつろぐスペース 	<ul style="list-style-type: none"> 親子遠足で図書館に行ってみよう！ 本を閲覧できる場所を広めにし、災害時にテーブルなどを退けたら人が避難できるスペースにできるようにしてほしい 授乳やおむつ替えスペース 棚を低くして見渡せるように、オープンなイメージの空間 学習スペース/キッチンスタジオ/コージコーナー 座り心地のいい椅子 	<ul style="list-style-type: none"> メディアルームを活用し、教育、保育の利用者を増やしていく 学校、保育園への情報発信 イベントのチラシ配布 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な意見があり、新しい図書館に対する期待が大きいと感じました。 公立なので、できることは限られていると思いますが、魅力的な図書館ができるといいと思います。 様々な方の考えを聞く機会を持ててよかった。 読み聞かせボランティア同士の悩み（メンバー固定、聴く人が少ない）がどこでも共通していて、打開策として、活動する側からの発信スキルをアップする話し合い。
朝日分館 おはなし会	<ul style="list-style-type: none"> おしゃべりをしたり、飲食をしたり、気軽に立ち寄れる場 学生・子どもたちの居場所になれる開館時間 現役世代が利用できるよう開館時間の延長 ママ友で子どもたちも一緒に集まれる場所 いきいき大学（農業講座）との連携（資料展示や貸出） 同じ趣味を持った人が集まることのできるコミュニティの場 	<ul style="list-style-type: none"> 図書館のことをもっと広めたい 	<ul style="list-style-type: none"> 「まなぼうや」（朝日地域広報）等に、毎月新しく入った本を紹介するコーナーを設けるとか 利便性の良い立地 カフェが併設している図書館 	<ul style="list-style-type: none"> 新しい本館ができて、分館は存続させてほしい 立ち寄る人を増やすための工夫 初めて来館する人にも分かりやすい入口の表示 	<ul style="list-style-type: none"> 他の分館の現状を知ることができ良かった。 子どもたちに紙の本のおもしろさを今後も伝えていきたい。

鶴岡市立図書館のサーバーへようこそ

鶴岡市では、新図書館整備事業の基本構想策定に向け、新たな図書館のことについて語り合う「新図書館構想つるおか」サーバーを設置しました。新しい図書館で、あんなことがしたい！こんなことがしたい！みなさんの図書館について、ご意見・アイデアをお聞かせください。投稿された内容は、基本構想策定の参考にさせていただきます。



このサーバーの関わりは？

このサーバーは、企画懇話会、図書館ミーティングだけでなく、たくさんの方々からご意見・アイデアをお聞かせいただく場として設置しました。

関わり方は、人それぞれです。

例えば…

1. 企画懇話会や図書館ミーティングでの話題に自分の考えやアイデアを投稿してみる
2. 図書館ミーティングに参加したけど、言い忘れたことを付け足してみる
3. とりあえず、どんな会話がされているか様子を見てみる

投稿する際は？

投稿する際は、次のことに気を付けてもらえると嬉しいです

1. 考え方は人それぞれです。相手のことを想像し尊重して投稿しましょう
2. 否定することは簡単です。より良くするための投稿に心がけましょう
3. 画面の向こうには人がいます。お互い気持ち良いやり取りができるよう心がけましょう

図書館から意見への返信ってあるの？

都度個別にはしませんが、期日を区切ってまとめて返信いたします。

あなたにとってよい図書館とは？

HA: 私自身は余り現在の図書館に不満はないのですが、移設するのであれば市民がアクセスしやすい場所に建設して欲しいです。アクセスの容易さを最重要視しています。

立地

HA: 読みたい本を借りたり返したりするだけで図書館に行く事が面倒な時もあります。駅に返却ポストがあるとか、あるいは宅配便のロッカーの様に24時間受け取りができるロッカーが駅にあるとかすると便利だと思います。または路線バスの比較的空いている時間の便などで本を返せる返却ポストを、バスの運転席の横に設置してもらえるのも便利かもしれません。鶴岡のバスは人だけでなく本も運んでもらえればありがたいです。

しくみ

HA: 書庫に入りきらずに廃棄されてしまう本のある事を心配されている方が居られましたが、例えば図書館のサポーター制度の様なものが出て、廃棄される本の保管をサポーターが自宅で行って、借りたい利用者がいる時に図書館に持っていきける様な仕組みが構築できれば書庫の確保の助けにもなるかもしれません。課題は沢山あるでしょうけれども本を借りるだけの図書館ではなく、逆に貸したりシェアしたり出来ると蔵書が拡大しないでしょうか。まちナカと言うよりまちジュー図書館のような感じで、図書館がさらに身近になりそうです。

しくみ

KA: 著名な建築家にデザインを依頼したような華美な建物でなくて良いので、紫外線や湿気から蔵書を守り、座席数と駐車台数の多い図書館であればよいと思います。

建物

SI: 僕も図書館をよく利用しています。鶴岡市立図書館は本を借りに行ったり、学生の勉強部屋的な静かで閉鎖されたイメージが強い印象を感じています。現代の図書館建築は子育て・飲食・音楽やイベントなど、賑やかな文化の中心地として計画されることが多いので、鶴岡の図書館も若者や子供たちが集まる、賑やかな場所になって欲しいと個人的には思います。

交流

OS: 読みたい本があった時に、いつでも手元に取り寄せて無料で読めることができることが良い図書館であると思います。本の価値は、その本を読む人が多いかどうかでは決まらないと思うので所蔵スペースを拡張して専門書をもっと増やしてほしいです。

資料

MI: ちょっと、趣旨とは違うかも知れませんが、検索した本が館内にある場合、その本のある場所をすぐにわかるようにしてほしい。今は番号から場所を探さないといけないけど、とてもわかりづらい時がある。

しくみ

KE: 私にとって良い図書館は、・駐車場に困らない・椅子が沢山ある（ソファは耐久性と寝る方がいるので不要）・分類の偏りが少ない新規図書購入（売れ筋、ベストリーダー、作家を重視しない）・リクエストがしやすい（係員を通さない手続き）・子連れ、親子連れでいつも賑やか。

建物

しくみ

KE: 今日実際にあったことですが、検索PCを独占使用している方がいらっしゃいました。私の場合ほぼ2～3分しか検索PCを使わないので、「何をそんなにゆっくり見ているんだ」と、とても嫌な思いをしました。何か良い改善案はないでしょうかねえ。「注意書き」だらけの図書館はイヤだし。

しくみ

あなたは図書館で何をしたいですか？

HA: あまり文学などについては関心が大きくないのですが、関心を持った内容について最初に頼りたいのが図書館の資料です。

資料

HA: 図書館ミーティングに参加して、ハード面よりもソフト面での充実に期待する意見を言われる方が多い印象があったのですが、図書館に多くの機能を求めすぎてもスタッフ側の負担が大きくなるのを心配します。イベントなどを企画するスペースは図書館の中でなくても隣接していたり近くにあって連携すれば良いのではとも感じます。その様なスペースなら高校生らの居場所にも時間によっては活用できないでしょうか。書庫の確保や図書館本来の人と資料を結び付けていく機能を充実させていくといったシンプルな機能もデジタルを率先して活用して欲しいです。

デジタル

SI: 図書館に行くと、なんだかリフレッシュできたと感じるような、そんな場所になって欲しいです。コーヒー飲みながら本を漁りたいです笑

機能

OS: 静かに本を読みたいです。図書館の来場者数が多いことを良い図書館であること目安にする人もいますが、そのような市場原理で図書館の良さを測るべきではないと思います。

機能

図書館にくる敷居を低くするために、“声を出して本について話してもいいスペースを設ける”という案もみましたが、そこに来る人々が本のことをだけ話しにくるわけではないように思え、来場者数を増やすために本来の図書館の目的から大きく離れたことができるようにすることは間違っていると思います。

本が置いてある超強い公民館を創ること、良い図書館を作ることは別のこととして考えていただきたいです。

OS: 自分が知らなかった本があることに気づきたいです。そのために地下の閉架書庫なども条件付きで見学できるようにしてほしいです。

しくみ

OS: 知識の幅を広げたいです。法律や歴史や数学など色々な分野の専門家を呼んで講演会を開けるようなスペースを作り、自分の生活や関心がない分野の本にも興味を持てるような啓蒙？普及活動をしてほしいです。NHKの番組の100分で名著のような入門者に噛み砕いて解説するような色々な分野の講演会をしてほしいです。

イベント

MI: 人それぞれ考え方はあると思うけど、FreeWiFiがあると助かる。ノートパソコンやスマホを使ったりとか。

デジタル

KE: 藤沢周平記念館とアートフォーラムと図書館を隣同士にするとお互いの客を呼び込める（笑）

立地

KE: 常連客向けの企画から新規客を呼び込み新たな常連客にする企画立案現状の各種企画は図書館内の蔵書案内（こんな本を集めましたよ、新聞の記事の本ですよ、他館の蔵書ですよ）がほとんどで、残念ながら図書館にいつも来る常連客にしか届いていません…係員の皆さんの努力は常連客には十分伝わっています…建て替えた後に新規客がどんと増えなかったらそれを問題視し、叩く市民が大勢います。指定管理者制も視野に、入館者、貸し出し数を大幅に増やし予算拡充を目指しましょう。

運営

CA: 図書館でしたいことはコーヒーが飲めたりするカフェのような使い方をしたいです。明るく洗練された空間で日常とは違うリフレッシュの場としての機能を求めています。あとは今の出版（小説、ドキュメンタリーなど）の流行が知れると嬉しいです。

機能

SK: 地域の新聞や大手の新聞のデータベースを使って調べものができるといいですね。新しい図書館では結構あるサービスです

デジタル

郷土資料館の利活用方法は…

HA: 実は郷土資料については最近大きな関心があります。鶴岡の歴史について頼れる存在は、やはり鶴岡の図書館です。地味な取り組みで構わないので未来のために資料を分かり易く残しておく、活みのある一面も大切にしたいです

資料

HA: 家中新町になぜ図書館を作ったのだろうと考えてみた時に、たまたまハザードマップを見る機会があって、比較すれば浸水などの水害が少ない地域と気が付きました。ポツンとした図書館とっていましたが、40年も前に、もしかすると大切な資料を最大限水害から守ろうとしたのかもしれないです。対策を施せば立地はどこでも構わないですが、その様な意識も評価したいです。

立地

HA: 3回目の図書館ミーティングで“文学館があっても良いのでは”という意見がありましたが、私も同意見です。今は郷土の著名な作家の方の紹介は大宝館に展示スペースがありますが、郷土資料館での作家の方々の紹介が充実すると関心を持つ市民が増えたり、作家に関心のある観光客の方の来訪にも繋がるのではないのでしょうか。

展示

SI: 郷土資料コーナーは図書館の隅に追いやられてるのがアルアルって感じですが、刃物金物産業の町である新潟県三条市の図書館「まちやま」では、包丁や刃物のできるまでの工程が、館内ガラスケースに展示されていて、伝統文化の発信と図書館が融合していました。地域資料コーナーは3階奥にあるのですが、他の県の図書館よりも郷土資料コーナーに人が多い印象でした。食の都鶴岡でも、生かせるかもと感じた次第です。

展示